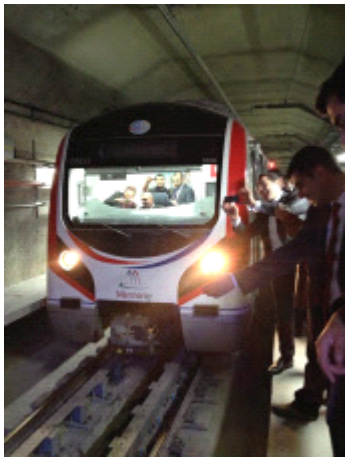
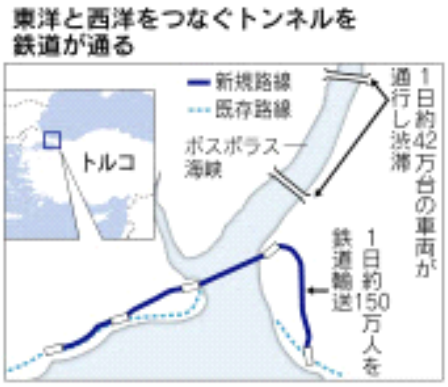
トルコ、海峡トンネルが開通 欧州−アジア結ぶ動脈に

【イスタンブール＝花房良祐】トルコ政府は29日、イスタンブールを東（アジア）と西（欧州）に分けるボスポラス海峡の海底トンネルの開通式典を開いた。大成建設が手掛け、日本政府が円借款を供与しており、日本の技術と資金の支援で実現した。トルコ国鉄の電車が運行し、政府によると毎日150万人を運ぶ見通し。欧州とアジア間の渋滞を緩和し、都市機能が高まると期待される。

トンネルなどの建設費は約1500億円規模。海底部分約1.4キロメートルを含む５駅分の約13.6キロメートルの区間が開業する。式典には日本から安倍晋三首相が出席した。





海底トンネルを走る電車に試乗する関係者ら（イスタンブール）

トルコは海底トンネルの新設路線につなぐ既存路線の改修工事を続けており、2015年に既存路線を新設路線につなげる計画。海底トンネルは日中は乗客用、夜間は貨物列車が走行し、将来は欧州と中東・アジアを結ぶ物流の動脈も担うことが期待されている。

イスタンブールの市街地は海峡の西側で歴史的に発展してきたが近年は東側の住宅街の開発も進み、両岸の人の往来が増加している。船以外の交通手段では海峡に２本の大型のつり橋があるものの、１日40万台強の車両が行き来し、激しい交通渋滞に悩まされている。トンネル開通により、１日150万人を運べれば、渋滞緩和につながる。

（「日本経済新聞」、2013年10月29日）

【韓国BBS】安倍首相の夢は日韓海底トンネルで新幹線を運行

韓国のコミュニティーサイト「ガセンギドットコム」の掲示板に「安倍の夢は日韓海底トンネルで東京からロンドンまで新幹線運行」とのスレッドが立てられたところ、韓国人ネットユーザーからさまざまなコメントが寄せられた。

スレ主は、10月28－30日の安倍晋三首相のトルコ・イスタンブール訪問に関する産経新聞の記事を紹介するとともに、日本のネットユーザーの反応を紹介した。安倍首相は10月29日、ボスポラス海峡を横断する地下鉄の開通式典の関連行事に参加した後、トルコ・エルドアン首相との会談を行った。その席上で、海峡を横断する鉄道構想が1860年からあったことなどを紹介。また「次は東京発イスタンブール、そしてイスタンブールからロンドンにつながる新幹線が走る夢を一緒に見ようではありませんか」と、日韓海底トンネルを前提とした日本と欧州を新幹線でつなぐ構想について語ったという。

これに対する日本のネットユーザーの反応は、「リップサービス」、「韓国とは絶対につなぎたくない」、「日韓トンネルなどいらない」などと、批判の声が多く見られた。　一方、韓国のネットユーザーからは、「歴史問題があるから日韓海底トンネルは無理ではないか」、「安倍さん、無理だから。妄想はいい加減にしろ」、「日韓海底トンネルは、韓国に全くメリットがない」として、やはり日韓海底トンネル構想に否定的な声が並んだ。

多くの韓国人は、日韓海底トンネルは非現実的な構想と捉えており、また韓国とヨーロッパ間のアクセスについては、北朝鮮の存在がある限り、難しいと考えている様子がうかがえた。(「Searchina」、2013年11月４日、編集担当:李信恵・山口幸治)